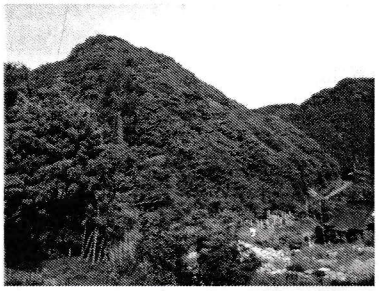
郷の原　今と昔

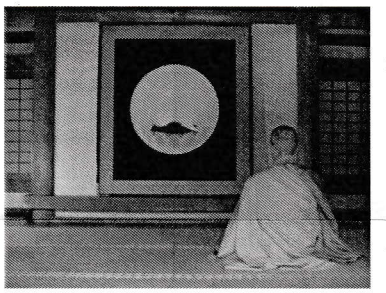
私の住んでいる篠栗町郷の原。最近、私はこの地の歴史に感慨深いものを感じております。祖聖大寺の在る郷ノ原は昔、英彦山修験道の山伏の峰入り行のルートで、多くの行者達が修行に訪れた地でもあります。今も残る修行の場所に近所の方の道案内で足を運びました。



その場所は、当山から北東の方角へ徒歩３０分。昔はそこに滝があり、過去の水害で跡形もなく破壊されたとの事。その横の斜面には、山伏が修行した巨窟（いわくら）と言われる岩の真ん中が空洞の場所があり、今でも当時の名残が感じられます。行者の中には病や山賊に襲われ、志半ばで命を落とす方もいたとの事。志半ば命を落とした山伏の心情を察するに不安と恐怖、情けなく、悔しい思いがあったと感じました。当時は今の車社会とは違い、自力の時代。自分の足が頼りの時代で英彦山から沢山の山の峰を伝い伝い、この郷の原まで足を延ばした事など私達には、想像もつかない過酷な修行だったと思います。その思いの奥には神仏に対して揺るぎない思い（信仰心）があった事が伺えます。彼らの修行は、現代の我々が忘れた日本人の神仏に対しての畏敬の念の大切さを教示しているようです。コロナの蔓延で世の中混沌としており、出口の見えない現状。だからこそ感謝の心と信仰心の復活が急務と感じております。今こそ我々が、改めて心の行に励む時と思います。　　合掌

（画像は、初夏の郷の原　正面の山の谷が旧飯塚街道で山伏谷とも呼ばれます）

阿字観のお勧め



阿字観とは、真言密教の座禅（瞑想（めいそう））で「阿（あ）」という字（梵字）を見ながらゆっくりと呼吸をし、その呼吸が神仏と一体になる事を肌で感じ、生かされている事を実感していただくというものです。この「阿」という字は、私達がこの世に生まれてくる時、最初に出す声であり、またこの世での勤めを果たし最後に出す声でもあります。

随時（事前にご連絡下さい）　当山 本堂

祖聖大寺女性部の入会のお進め

当山では祖聖大寺女性部「篠栗遍路の会」を開設しています。
活動としては、篠栗霊場を参拝（遍路）しながら、霊場の清掃行をする会です。女性部入会頂いた方には、特典として月例供養祭、祈願祭終了後、阿字観瞑想を致します。
又、スカイプも検討しております。遍路に参加出来ない方は寄付も受け付けています。皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

日時　毎月第３土曜日　午前９時集合　会費１,０００円

会費は、掃除用具購入、高野槇などの購入に使います。合掌